

【別紙2】中間評価シート

※H28とR1を比較し改善

		評 価				考察と課題	今後の方向性																													
		ストラクチャー (体制)	プロセス (実施過程)	アウトプット (実施状況・事業量)	アウトカム (成果)																															
データヘルス計画全体		<ul style="list-style-type: none"> 保健師の地区担当制。 KDB等を活用し健康課題を把握。 毎年保健計画策定時等に関係者で情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> KDBデータ等を分析し、毎年保健計画を作成。 	(各保健事業の実施)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>目標値(R5)</th> <th>H28</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>平均自立期間 男性(歳)</td> <td rowspan="2">延伸</td> <td></td> <td>80.1</td> <td style="background-color: #d9ead3;">80.5</td> </tr> <tr> <td>女性(歳)</td> <td></td> <td>84.6</td> <td style="background-color: #d9ead3;">85.0</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医療費(円)</td> <td>適正化</td> <td></td> <td>23,842</td> <td style="background-color: #d9ead3;">23,394</td> </tr> </table>	評価指標		目標値(R5)	H28	R1	平均自立期間 男性(歳)	延伸		80.1	80.5	女性(歳)		84.6	85.0	1人当たり医療費(円)	適正化		23,842	23,394	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標である平均自立期間は延伸、医療費の伸びも抑えられている。しかし、長期的に見ていく必要があり、現時点での評価は困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間満了時に評価を行う。 個別保健事業の実施により、目標の達成を目指す。 										
評価指標		目標値(R5)	H28	R1																																
平均自立期間 男性(歳)	延伸		80.1	80.5																																
女性(歳)			84.6	85.0																																
1人当たり医療費(円)	適正化		23,842	23,394																																
特定健診		<ul style="list-style-type: none"> 集団健診・個別健診の実施体制を整備。 人間ドック費用助成を実施。 かかりつけ医での検査結果について、本人の了解を得て病院に連絡、連絡・情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診申込み状況を確認、未回答者には個別で受診方法を確認。 新規国保加入者に対する特定健診制度説明・受診勧奨。 健診未受診者の状況を確認し、長期健診未受診者・医療未受診者には優先的に関わる。 	未受診者へのハガキ・電話・訪問による受診勧奨の実施 100%	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>目標値(R5)</th> <th>H28</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td></td> <td>72%以上</td> <td>75.4%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">76.9%</td> </tr> </table>	評価指標		目標値(R5)	H28	R1	特定健診受診率		72%以上	75.4%	76.9%	<ul style="list-style-type: none"> 受診率は維持向上している。今後40・50代の方に健診受診が定着していく必要がある。新規国保加入者とともに、生活習慣病予防の第一歩として健診受診を働きかけていく必要がある。 長期健診未受診者、医療未受診者も課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の名簿作成の継続。 対象者に個別に働きかけていく。また、最低年1回は健診結果についてお伝えし、健診受診の必要性の理解と継続受診に繋げる。 長期健診未受診者、医療未受診者に対して、優先順位を付け関わりを継続する。 																			
評価指標		目標値(R5)	H28	R1																																
特定健診受診率		72%以上	75.4%	76.9%																																
特定保健指導		<ul style="list-style-type: none"> 地区担当保健師を中心に個別保健指導を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導対象者名簿を随時作成。 名簿を基に優先順位を決め地区担当等による保健指導実施。 	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>目標値(R5)</th> <th>H28</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td></td> <td>90%以上</td> <td>67.1%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">91.8%</td> </tr> </table>	評価指標		目標値(R5)	H28	R1	特定保健指導実施率		90%以上	67.1%	91.8%	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>目標値(R5)</th> <th>H28</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>特定保健指導対象者の減少率</td> <td></td> <td>25%以上</td> <td>31.0%</td> <td>24.5%</td> </tr> </table>	評価指標		目標値(R5)	H28	R1	特定保健指導対象者の減少率		25%以上	31.0%	24.5%	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導率は向上している。 対象者の改善が難しい。内服開始により対象者でなくなる方は多いが、体重・腹囲の減少になかなか至らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の名簿作成の継続。定期的な関わりを持つ。 保健指導を実施するとともに、個々の生活状況にあった指導を考えていく。 									
評価指標		目標値(R5)	H28	R1																																
特定保健指導実施率		90%以上	67.1%	91.8%																																
評価指標		目標値(R5)	H28	R1																																
特定保健指導対象者の減少率		25%以上	31.0%	24.5%																																
個別保健事業	生活習慣病重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 重症化予防対象者について、保健・栄養指導を実施。 H30から集団健診で心電図・眼底検査を必須とした。またR2から個別健診でも心電図検査を必須とした。 血圧記録手帳を医療機関との連携に活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 重症化予防対象者名簿を作成。 名簿を基に優先順位を決め保健指導実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団健診後健診結果説明会を開催し、異常がある方には個別相談を実施。 ドック結果・医療機関での検査結果提出者へ個別相談を実施。 	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>目標値(R5)</th> <th>H28</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>被保険者1人当たりの脳血管疾患医療費</td> <td>維持</td> <td></td> <td>8,563円</td> <td style="background-color: #d9ead3;">4,782円</td> </tr> <tr> <td>被保険者1人当たりの虚血性心疾患医療費</td> <td>維持</td> <td></td> <td>2,227円</td> <td>5,583円</td> </tr> <tr> <td>糖尿病性腎症による新規透析導入者数</td> <td>0人</td> <td></td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>メタボリックシンドローム該当者の割合</td> <td>15%未満</td> <td></td> <td>17.3%</td> <td>17.9%</td> </tr> </table>	評価指標		目標値(R5)	H28	R1	被保険者1人当たりの脳血管疾患医療費	維持		8,563円	4,782円	被保険者1人当たりの虚血性心疾患医療費	維持		2,227円	5,583円	糖尿病性腎症による新規透析導入者数	0人		0人	1人	メタボリックシンドローム該当者の割合	15%未満		17.3%	17.9%	<ul style="list-style-type: none"> 脳血管疾患疾患については家庭血圧の確認・内服治療により医療費を抑制することができている。高血圧、塩分については引き続き課題である。 心疾患については医療費が増加した。心臓、血管は一件当たりが高額となり、メタボの状態から発症する。重症化予防対象者について、確実な治療と、減量の必要性、具体的な方法等について関わっていく必要がある。 糖尿病性腎症による新規透析者があった。 糖尿病については、治療のみではコントロールが難しく、栄養指導も併せて行うことが重要である。 メタボ該当者は県より低いが増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 重症化予防対象者名簿作成の継続。 評価表により優先順位を決め地区担当中心に関わる。訪問対象者数の把握、進捗状況の共有を行う。(保健師：血圧、栄養士：糖尿病 等検討) 効果的な対象者について検討し、二次検診を引き続き実施する。 減量プログラムを継続実施する。参加後も体重を維持しているように、関わりを考える。 地域特性、生活背景も意識し、生活習慣病予防に繋がるよう、実態把握と学習に向けた資料化をする。 				
	評価指標		目標値(R5)	H28	R1																															
	被保険者1人当たりの脳血管疾患医療費	維持		8,563円	4,782円																															
被保険者1人当たりの虚血性心疾患医療費	維持		2,227円	5,583円																																
糖尿病性腎症による新規透析導入者数	0人		0人	1人																																
メタボリックシンドローム該当者の割合	15%未満		17.3%	17.9%																																
糖尿病性腎症重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病管理台帳による対象者の把握及び評価を実施。 CKD管理台帳の整備。 糖尿病は食事指導が重要となるため、HbA1c7.0以上の治療者、腎専門医対象者は栄養士が主担当として実施。 糖尿病連携手帳を医療機関との連携に活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病管理台帳・特定健診結果で対象者を把握し評価。 未治療者・中断者 ハイリスク者(糖尿病治療コントロール不良者) 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病管理台帳より把握した対象者に対し、未治療者・中断者には受診勧奨を実施、ハイリスク者には栄養士による栄養指導を実施。 	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>目標値(R5)</th> <th>H28</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>健診受診者の高血圧者の割合(160/100以上)</td> <td>5%未満</td> <td></td> <td>5.1%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">4.4%</td> </tr> <tr> <td>健診受診者の脂質異常者の割合(LDL180以上)</td> <td>2%未満</td> <td></td> <td>2.8%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">2.2%</td> </tr> <tr> <td>健診受診者の糖尿病者の割合(HbA1c6.5以上、治療中7.0以上)</td> <td>5%未満</td> <td></td> <td>5.0%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">4.5%</td> </tr> <tr> <td>糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合</td> <td>80.0%</td> <td></td> <td>77.8%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">80.0%</td> </tr> <tr> <td>糖尿病の保健指導を実施した割合</td> <td>80.0%</td> <td></td> <td>89.2%</td> <td style="background-color: #d9ead3;">97.2%</td> </tr> </table> <p>HbA1c7.0以上割合 H28 3.7%→R1 3.9%</p>	評価指標		目標値(R5)	H28	R1	健診受診者の高血圧者の割合(160/100以上)	5%未満		5.1%	4.4%	健診受診者の脂質異常者の割合(LDL180以上)	2%未満		2.8%	2.2%	健診受診者の糖尿病者の割合(HbA1c6.5以上、治療中7.0以上)	5%未満		5.0%	4.5%	糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合	80.0%		77.8%	80.0%	糖尿病の保健指導を実施した割合	80.0%		89.2%	97.2%	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病性腎症による新規透析者があった。 糖尿病については、治療のみではコントロールが難しく、栄養指導も併せて行うことが重要である。 メタボ該当者は県より低いが増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 減量プログラムを継続実施する。参加後も体重を維持しているように、関わりを考える。 地域特性、生活背景も意識し、生活習慣病予防に繋がるよう、実態把握と学習に向けた資料化をする。
評価指標		目標値(R5)	H28	R1																																
健診受診者の高血圧者の割合(160/100以上)	5%未満		5.1%	4.4%																																
健診受診者の脂質異常者の割合(LDL180以上)	2%未満		2.8%	2.2%																																
健診受診者の糖尿病者の割合(HbA1c6.5以上、治療中7.0以上)	5%未満		5.0%	4.5%																																
糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合	80.0%		77.8%	80.0%																																
糖尿病の保健指導を実施した割合	80.0%		89.2%	97.2%																																
発症予防	ポピュレーションアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> 区長会を通じ、各地区年に1回の学習会実施を依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼のあった地区の会で、保健師・栄養士が学習会・相談を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 14地区中、H30 9地区、R1 8地区にて学習会を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 村の健康課題について、地域特性(塩分・食生活等)について、実態把握、学習が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区での学習会、健診結果の実態による集団学習等の場を設けていく。 																													
R2～	新規	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスクアプローチとして生活習慣病予防訪問と、認知症予防を中心としたポピュレーションアプローチを実施するため担当の保健師を配置。 	<ul style="list-style-type: none"> KDBによる健診・医療・介護データの課題分析と対象者を選定。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者88名に対して訪問・個別相談の実施。 サロン等活用した認知症予防の学習。R2 8カ所 	<ul style="list-style-type: none"> 健診有所見者率(高血圧・脂質異常):改善約20%、維持約50→60% 2号被保険者(40-64歳)の介護認定率 H28 0.2%→R1 0.05% 	<ul style="list-style-type: none"> 2号被保険者(40-64歳)の介護認定率は減少してきている。 介護認定者の原因疾患では認知症・脳血管疾患が47.9%を占める。基礎疾患として高血圧を合併している割合が多い。確実な治療と血圧コントロールが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業実施。 																												